
テクノスジャパンが取引情報共有プラットフォームCBPの 情報投資効果に関するホワイトペーパーを公開 -年間610万円の投資効果、紙やメールの受発注業務をクラウド化-



URL : https://www.tecnos.co.jp/lp/cbp/download/form_wp-001.html

DX でつながる社会の未来を切り拓く株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役：吉岡 隆、以下「テクノスジャパン」、証券コード 3666）は、取引情報共有プラットフォーム CBP の導入企業における情報投資効果に関するホワイトペーパーを公開いたしました。

テクノスジャパンの CBP（Connected Business Platform）は、企業間取引における注文～検収～請求～決済までの一連の商流をクラウド上で一元化できる取引情報共有プラットフォームです。取引業務の高度化と業務負担軽減&ペーパーレス化を実現し、企業の DX 促進、ESG 経営に貢献します。2022 年 5 月には CBP 上の「CBP 注文決済サービス」が正式に「中小企業共通 EDI 対応製品・サービス」として認証され、大企業間だけでなく中小企業とのデジタル取引も効率的かつ安心安全にご利用いただくことが可能となりました。

本資料は、CBP を導入した情報サービス業・A 社（従業員数：約 400 名）における情報投資効果を ABC/ABM※を活用して定量的に調査したレポートです。年間で約 610 万円の実績が上っており、導入から 5 年間の累計では約 2,300 万円の投資効果を期待できます。

※注釈

1.ABC: Activity Based Costing（活動基準原価計算）

業務を棚卸し（定性化）し、業務量の把握（定量化）をすることで業務活動を可視化して、それがどのような価値を生み出しているかを計る手法。

2.ABM: Activity Based Management（活動基準原価管理）

ABC 分析によって、サービス向上とコスト削減を両立させ、経営資源の最適化を実現する経営手法。

※本資料の分析結果は CBP による情報投資効果をシミュレーションしたものであり、効果を保証するものではありません。

■CBP 導入前の A 社の業務上の課題

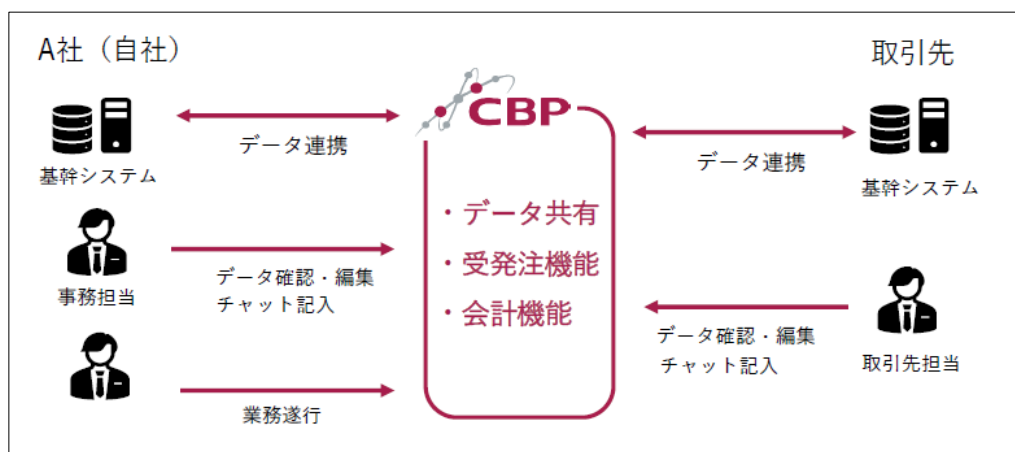
CBP 導入以前は、アナログな処理により、受発注業務が複雑化。

1. メールと紙の受発注が基本
2. 受領した書類はスキャンし、原本保存
3. 全ての検収確認を電話やメールで行っている

■CBP による課題解決

CBP 導入後、企業間取引業務をクラウド上で完結。大幅な業務効率化を実現。

1. 基幹システムとのデータ連携
2. 取引データを部門間・企業間で共有
3. コミュニケーション情報の一元管理



■CBP 導入による情報投資効果

A 社は CBP を導入することにより、取引先を巻き込んだ業務効率化を実現し、短期間での投資回収を可能としました。

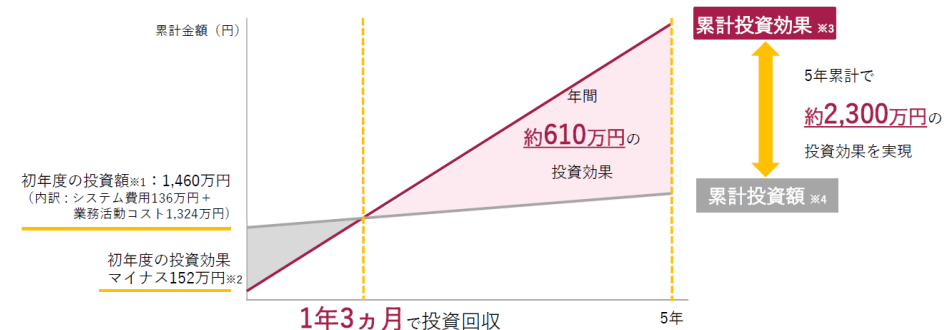
1. CBP 導入で年間 610 万、5 年累計では想定 2,300 万円の情報投資効果
2. 発注業務で 49 %、受注業務で 40 %の活動コスト低減を実現
3. 取引先においても受注業務の活動コストを 47 %低減

※初年度の投資額：1,460 万円

(内訳：システム投資額 136 万円、業務活動コスト 1,324 万円)

情報投資効果

下記グラフは、A社がCBPを導入した際にかかった初期コストと、以後5年間の運用でどれだけの情報投資効果があるのかを示したグラフになります。



※1 投資額：(CBPの導入・保守費用) + (発注業務に関するABCコスト)

※2 導入1年目は、CBP利用の企業と既存の取引方法の企業が並存しているため、
取引業務の運用パフォーマンスが一時的に低下している

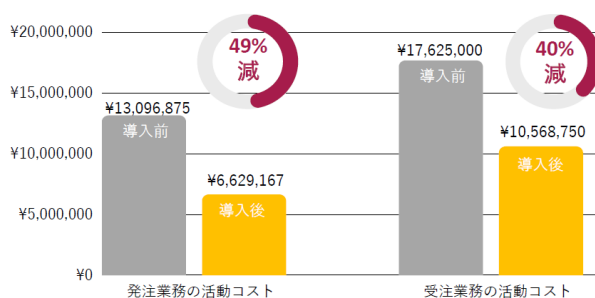
※3 累計投資効果：(CBP導入による発注業務の削減コスト) - (投資額)

※4 累計投資額：5年間累計の投資額

A社における業務活動コストの低減

発注業務で**49%** 受注業務で**40%**の活動コスト低減を実現

A社における受発注業務の活動コスト比較 (単年)

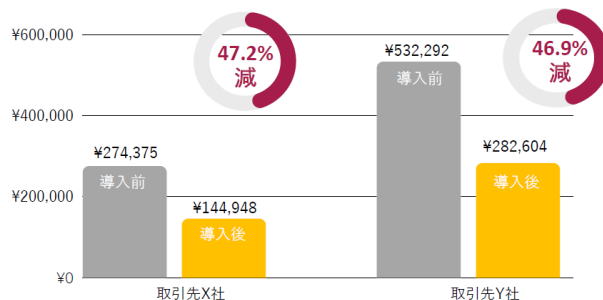


取引先における業務活動コストの低減

取引先においても受注業務の活動コストを**47%**低減

※取引先のシステム利用料は無料

A社の取引先における受注業務の活動コスト比較 (単年)



詳細については、以下のリンクより資料をダウンロードしてご確認ください。

https://www.tecnos.co.jp/lp/cbp/download/form_wp-001.html

■ CBP (Connected Business Platform) について

各企業が持つシステム同士が連携し、企業間データを齟齬無く、柔軟かつリアルタイムに活用できる、バリューチェーン最適化の基盤となる企業間データ連携プラットフォームです。データを溜める、活かす企業間取引基盤と、データをつなぐデータ連携基盤の2つのコア基盤で構成されており、データ活用によるコミュニケーションを図り、バリューチェーン全体での生産性向上を実現します。

URL : <https://www.tecnos.co.jp/lp/cbp/>



〈会社概要〉

■ 株式会社テクノスジャパン

1994年に創業し、ERPビジネスを中心に事業を拡大。2018年、20年のM&Aにより、もう一つの柱としてCRMビジネスを確立。取り扱いソリューションはERPのグローバルスタンダードであるSAP、CRMのグローバルスタンダードであるSalesforceが中心で、現在はこれらに加えてテクノスジャパン独自の取引情報共有プラットフォーム「CBP」上にクラウドサービスを展開。「企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する」をグループミッションに掲げ、企業向けの経営・業務領域のデジタルトランスフォーメーションを推進するサービスを提供しています。

所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー14階

代表取締役：吉岡 隆

設立：1994年4月27日

資本金：5億6,252万円

HP : <https://www.tecnos.co.jp>

■ 本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

テクノスジャパンPR事務局（アンティル内）倉澤・林・赤崎

Tel : 03-5572-7375 Mail : tecnos@vectorinc.co.jp

株式会社テクノスジャパン 経営戦略室 亀井・山本

Tel : 03-3374-1212 Mail : info@tecnos.co.jp